

おうみはちまん 議会だより

2024
(令和6年)

第59号

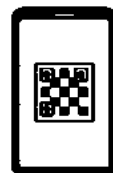
5月1日発行



【3月30日開催のざかいカフェ（議会報告会）】

今号の主な内容

- 2～3 ◆特集 議会報告会について
- 4～14 ◆3月定例会の概要・代表質問・個人質問
- 14～17 ◆委員会審査報告・委員会活動報告
- 18 ◆議会防災（情報伝達）訓練・議員紹介・編集後記
- 19～20 ◆提出議案と議決結果一覧・お知らせ



二次元バーコード（個人質問ページ）で本会議での質問の様子をご覧ください

～シールアンケートを実施してみても～ 各常任委員会より

YES

こんなことを聞きました！

【総務常任委員会】

「自治会の行事に参加」「まちづくり協議会行事に参加」

【教育厚生常任委員会】

「こども施策は充実している？」「高齢者施策は充実している？」

【産業建設常任委員会】

「近江鉄道は利用したことがある」「あかこんバスは利用したことがある」

NO

総務常任委員会 では、令和5年度の所管事務調査のテーマを「地域コミュニティの現状と課題」としています。

今回の議会報告会（ぎかいカフェ）では、「①自治会行事への参加」と「②まちづくり協議会行事への参加」についてお聞きしました。その結果、①では、回答者の77%の方が、②では55%の方がそれぞれ参加されていることが分かりました。②の不参加の理由として、コミュニティセンターまでの距離（交通手段）や関心度の低さ（よく分からない）などの回答がありました。



教育厚生常任委員会 では、「子育て施策は充実しているか」「高齢者施策は充実しているか」と当委員会にとっても二つの大きなテーマについて市民の皆様にはアンケートをさせていただきました。

アンケートの結果として子育て施策については一定の満足感がある一方で高齢者施策については施策の認知度が低いのか、施策が充実していないと感じておられるという結果になりました。

この結果を踏まえて、今後はどの様にすれば世代間での不公平感や不満が出ない様になるのか当委員会で積極的に議論を行ってまいります。

産業建設常任委員会 では、所管事務調査の一つが地域公共交通であり、あかこんバスと近江鉄道の両交通機関を利用している人が少ないのではという観点から、この質問にしました。

一年以内に利用したことがない人は、近江鉄道は約56%、あかこんバスは約73%、という結果でした。あかこんバスに関しては肌感覚と一致した結果ですが、近江鉄道については、市の調査結果より高い利用頻度が出ました。イオンでの調査ということで、近江鉄道を利用してイオンに来られる方が多いのでは、と推測されました。



【アンケートにご協力いただきました皆さんありがとうございました！】

特集 議会報告会を開催！

近江八幡市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指し、近江八幡市議会基本条例に基づいて議会報告会を開催しています。

今年度はイオン近江八幡ショッピングセンターで「ぎかいカフェ」を行いました。皆さんにホッと一息ついてもらいながら意見を伺ったり、アンケートへの回答をしてもらったりしました。



【カフェでほっこり】



【シールアンケート実施中】



【モルック体験中!】

赤コン君も来たよ



“ぎかいカフェを終えて”

議会を少しでも身近に感じていただきたいと4年ぶりにぎかいカフェを開催しました。議員全員が協力してカフェコーナーやスポーツ体験、シールアンケートなどを企画しました。

カフェ用に用意していたクッキー100個は早々に無くなり、手配り用チラシも150部すべて配布、スポーツ体験やシールアンケートなども大変盛況に終えることができました。

議員も考えや立場などの違いを超え、1つの目的のために協力しながら充実した活動することができました。この姿こそ、まちづくりに励む私たちの思いだと市民の皆さんに伝われば幸いです。

広報広聴委員会 副委員長
竹尾 耕児

3月定例会の概要

令和6年第1回（3月）市議会定例会を2月15日から3月22日までの37日間の会期で開きました。

2月15日の開会日には、諸般の報告として、議長報告のほか、監査報告及び市長報告の後、市長提出議案として、「令和6年度近江八幡市一般会計予算」の他、合計48議案が上程されました。上程された議案のうち、議第28号について、産業建設常任委員会に付託され、委員会審査後、本会議を再開し、委員会審査報告のあと採決し、可決しました。

その後、議案熟読の期間を経て再開された2月26日には、追加議案として市長提出議案4件、議員提出議案として意見書2件が上程されました。2月26日、27日に5会派が代表質問を行い、市長の施政方針などについて質問を行いました。

その後、再開された3月5日には追加議案として、市長提出議案の予算案件2件が上程されました。3月5日、7日、8日に14名の議員が個人質問を行い、議案質疑や市政全般に対する質問を行いました。上程された議案および意見書は、予算・総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会に付託され、後日開催した各常任委員会でも当局から議案に対する詳細な説明を求め審査を行いました。

22日の閉会日には、各常任委員会

の審査報告の後、議第11号に対する修正案が提出され、討論・採決を行った結果、修正案は否決、原案を可決しました。

また、同日、追加議案として、市長提出議案の条例議案2件、人事議案2件、議員提出議案の意見書2件、決議（附帯決議）1件が上程され、うち条例議案2件について、教育厚生常任委員会に付託され、委員会審査後に本会議を再開し、審査報告のあと、採決し、可決しました。人事議案については全て同意され、本定例会に当局から提案された議案については、全ての議案を可決・承認・同意しました。議員提出議案のうち、会第1、2号については賛成少数で否決、会第3、4、5号については全員賛成で可決されました。各会派の代表質問は次のとおりでした。

【創政会】

- ①令和6年度当初予算について
- ②市長再選後のこれまでの成果と今後の市政の方向性について
- ③本市の待機児童について
- ④少子高齢化・人口減少について
- ⑤教育行政について
- ⑥ヤングケアラーについて
- ⑦国スポ・障スポについて
- ⑧市立総合医療センターについて

- ⑨西の湖水質浄化について
- ⑩観光行政について
- ⑪農業問題について
- ⑫商工業行政、特にコロナ過とダイハツの操業停止による本市への影響について
- ⑬空き家対策について
- ⑭都市公園・児童公園等の整備について

- ⑮地域公共交通について
- ⑯道路行政について
- ⑰河川整備について
- ⑱都市計画について
- ⑲危機管理について
- ⑳ふるさと納税について
- ㉑安土城築城450年を節目とした市全体の一体感の醸成について
- ㉒老人会・老人クラブについて
- ㉓安土コミュニティエリア整備事業と安土小学校跡地及びコミュニティセンター跡地の活用について
- ㉔自治体DXについて
- ㉕市庁舎整備について
- ㉖地域手当について

【政翔会】

- ①近江八幡市のこれからの「人づくり」と「まちづくり」について

【育政会】

- ①第1次総合計画の進捗管理と、施策評価について
- ②公共施設利活用の計画性について
- ③文化会館の稼働率向上対策について

- ④国スポ障スポレガシー
- ⑤若者の定住施策について
- ⑥人材確保と人材育成について
- ⑦DXの推進について

【公明党】

- ①令和6年度予算について
- ②高齢者施策について
- ③スクールガードについて
- ④市営住宅について
- ⑤健康ふれあい公園について
- ⑥交通の円滑化に向けて道路整備を

【日本共産党】

- ①防災について
- ②大型公共事業の実施と財政状況について
- ③会計年度任用職員について
- ④1人目からの学校給食の無償化について
- ⑤保育士の確保について
- ⑥八幡第1浴場の新築に向けた調査と事業決定のプロセスについて
- ⑦民間委託事業と公契約条例について
- ⑧就学前保育・教育や学童保育の評価と相談窓口について
- ⑨小学校の教職員の働き方について
- ⑩高齢者補聴器購入費用助成事業について
- ⑪介護の充実について
- ⑫水稻農業への支援と農業施策について
- ⑬産業支援について
- ⑭市職員の働き方とパワハラ根絶について

代表質問



創政会

令和6年度

当初予算について

南 祐輔



問 令和6年度当初予算の概要

説明では5つのキーワードをあ
げられていましたが、予算編成
の基本方針と、具体的にはどの
ような取組をされるのかについ
て全般的にご説明願います。特
に優先課題としては何を念頭に
おかれているのかについてもお
示してください。

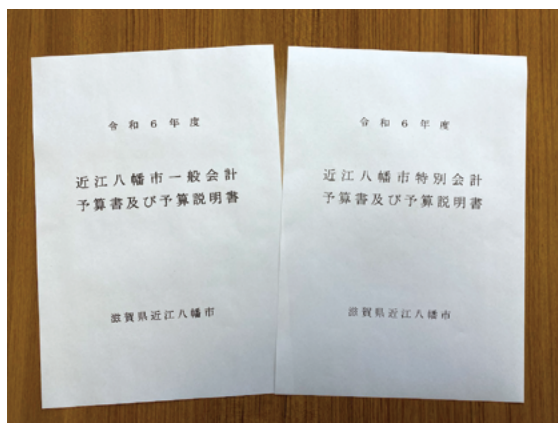
あわせまして、歳入一般財源
の状況についてもお聞きします。

答 市長

令和6年度当初予算は、大型
施設整備事業の本格化による大
規模な財政出動が到来する状況
においても、市民の皆さんの想
いを大切に、市の事業と好循環
を生み出す新たなステージに向
けた『夢と愛を育み、いざ出
陣実行予算』と位置付け、「トラ
イ・アンド・エラーを繰り返す」
「常に行・実現を前提に方策を
考える」、「トップランナー集団
を目指す」、「補いあい、助け合う」
の4つの行動指針を重視して市

政を進めます。

歳入一般財源は交付税交付団
体のため限りがあることから、
ふるさと応援基金をはじめとす
る基金や財政措置が有利な市債
の活用等様々な財源を確保し、
令和6年度当初予算を編成しま
した。



「その他の質疑・質問」

①その他の質問についてはP4を参照
ください

代表質問



政翔会

近江八幡市からの

「いづり」と「まはるは」について

沖 茂樹



問

①「近江八幡市道路整備ア
クションプログラム」の見直
しは、何に重点を置いて進め
られますか。

②耕作放棄地に対しては、市で
方針を定め、計画的に対策を
講じるべきであると考えます
が如何でしょうか。

③GXの推進が地元中小企業
へ与える影響、効果、また、
GXを導入される企業への支
援にはどのようなものがありま
すか。

④この先、高齢者を取り巻く環
境はどのように変化し、その
ような状況下において、市は
地域や老人クラブにどのよう
な役割を期待しますか。

答

総合政策部長、福祉保険部長、
都市整備部長、産業経済部長
①厳しい財政状況の中で、より
効率的・効果的な路線選定を
重点とします。
②目指すべき将来の農地利用の
姿を明確化する「地域計画」



※GXとは
化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させる経済社会システム全体の変革（内閣官房）

「その他の質疑・質問」

①その他の質問についてはP4を参照
ください

代表質問



育政会

松村 務

農地の有効活用と雇用創出
で若者の定住施策を



問 農業の担い手不足が深刻で、若い人たちは職を求めて市外へ流出しています。

若者の定住対策としての働く場づくり、また、農産物を活用した産業の創出が求められています。

そこで、農林水産省が進める「農村地域への産業の導入促進」いわゆる「農村産業法」を活用することが、農業衰退と人口減少の時代に突入した近江八幡市にとって必要かと思いますが、当局の見解を伺います。

答 産業経済部長

農業従事者の定着を図るうえで、農村産業法の活用は有効と言えますが、導入産業は一定規模の就業効果の見込める業種である必要があります。

本市は、農用地区域外に産業導入に必要なまとまった土地がないことから、農用地区域に求めざるを得ない状況にあると認識しているものの、優良農地の

確保の観点から、同法の活用にあつては、市が実施計画を定め、県の同意を得なければならぬとされていますので、本市の実情を踏まえたなかで導入産業の業種や規模等を慎重に検討すべきと考えています。



「その他の質疑・質問」

①その他の質問についてはP4を参照ください

代表質問



公明党

山本 妙子

市営住宅について



問 ①住宅セーフティネットの定義は

②空き状態の住宅、緊急避難場所としてのストック、修繕を加え提供できる住宅の数は

③募集件数と応募者数は

④需給バランスについて、応募状況とマスタープランに掲げる必要戸数に乖離はないか

⑤ア、耐用年数による建替えや用途廃止について計画はあるか

イ、借り上げ制度・業務の外部委託の導入について

⑥共益費の集金を家賃と合わせて市が徴収してはどうか

⑦生活困窮者の相談窓口との連携・相談体制を強固にうち③④⑤について回答願います。

答 都市整備部長

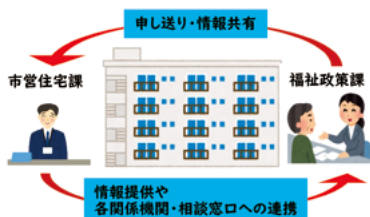
③中層住宅…募集19戸・応募者数53人、改良住宅…募集12戸・応募者数31人です。

④本市の著しい困窮年収未満の世帯の住宅ニーズを含め、市

民の皆さまの需要を把握しながら、市営住宅の確保と定期的な入居者募集を行ってまいります。

⑤ア、老朽化が顕著な9団地は、新規募集を停止しており、今後、状況に応じ、用途廃止を行いたいと考えており、建替えは検討していません。

イ、民間の空き家、空き室を活用した住宅借り上げ制度の導入、維持管理業務の外部委託など民間活力の導入を、具体的に検討していきます。



「その他の質疑・質問」

①その他の質問についてはP4を参照ください

代表質問



日本共産党

森原陽子

介護の充実について



問 本市は平成29年度で要支援1・2のデイサービス利用を打ち切りましたが、本市以外の市町では、要支援でも以前のようなデイサービス利用が可能です。

昨年3月議会で、「(このよう
な市の方向性が)重症化予防に
効果があったか、検証が必要」
と回答されていますが、検証結
果についてお聞きます。

第9期の総合介護計画で、要
介護1と認定された方の80.2%
が認知症ランクⅡ以上です。第
7期の66.0%から、6年間で
14%も増加したことをどのよう
に分析していますか。

答 福祉保険部理事

いきいき百歳体操等、地域の
通いの場の設置目安は大きく基
準を上回っており、通いの場へ
の75歳以上の参加割合は、令和
2年度9.8%から令和4年度13.
5%に増加しており、高齢者自
身の介護予防の取組が進んでい
ます。また、第1号被保険者に

占める事業対象者の割合は全国
や滋賀県と比較すると高いこと
から、要支援認定を受ける以前
に留まっていることが考えられ
ます。

認知症については、認知症高
齢者の出現率が増加とともに高
くなること、本市の要介護1の
認定者の平均年齢が84.35歳であ
ること、早い段階から医療や介
護につながる方が増加している
ことから日常生活自立度Ⅱの高
齢者の割合が高くなってきてい
ると分析しています。



「その他の質疑・質問」

①その他の質問についてはP4を参照
ください

個人質問



創政会

間宮泰樹

森林保全について



問 森林は国土保全として、水
源の涵養、二酸化炭素の吸収に
よる地球温暖化防止など多面的
機能を有しており、植物、自然
環境に対する意識を高めるため
里山再生整備事業が実施されて
います。事業内容と事業評価に
ついて伺います。

また、これまで森林の管理・
育林を担ってきた生産森林組合
は財政難や高齢化により運営が
困難な状況のため、組合が所有
している森林を、林業経営に適
さない森林として市に経営管理
していただけないか伺います。

答 産業経済部長

里山再生整備事業は、里山の
散策道や里山のふもと周辺にお
きまして、下草刈りや倒木、枯
れ木などの伐採除去、竹林の整
備、木材を利用した階段ベンチ
等の設置などの整備を実施して
いただいています。事業評価は、
実施団体より事業の実績報告を
提出いただき、計画通り実施さ

れているかなどを確認及び審査
をしています。

生産森林組合については、生
産森林組合組織と、所有されて
いる森林の今後のありかた等に
ついて、中部森林整備事務所を
交えて、協議していきたいと考
えています。



【森林整備】

「その他の質疑・質問」

①安土町総合支所の今後について

個人質問



政翔会

防災、緊急事態対応

久郷定彦

について



問 国は「防災、減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」とし令和3年度から令和7年度の5年間で集中的に実施する対策期間としております。重点的に取り組むべき対策として「予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策」の中で「農業水利施設等の老朽化対策」「上下水道管施設、整備の老朽化対策」がありますが、本市においては、農水管や上下水道管の耐震化にどのような対策をされているのかお答えください。

答 産業経済部長・水道事業所長

当市が直接管理する農業水利施設はございませんが、各土地改良区において、農業水利施設等の老朽化対策を行われています。農水管の耐震化については、農業水利施設の老朽化対策を優先的に進めている段階であり、農水管の耐震化まで対応できていない状況です。



【日野川北里空撮】

上水道管については、現在、老朽管及び非耐震管の速やかな更新を図るため、管路DB（設計施工一括発注）の導入を進めながら、耐震管への更新を行っております。下水道管路施設については、令和7年度に下水道総合地震対策計画を策定し、順次地震対策を講じる予定であります。

個人質問



凜成会

防災について

山元聡子



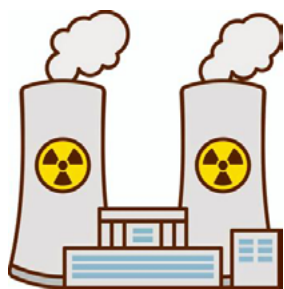
問 原子力防災について伺います。安定ヨウ素剤とは原子力発電所などで事故が起きたとき、甲状腺被曝を抑えるために配布され、服用するものです。現在医療センターに備蓄してある安定ヨウ素剤は、常時全市民分を網羅する量が備蓄されており、錠剤と乳幼児用のゼリーの在庫を学区毎に分け、毎年少しずつ新しいものに入れ替えを行っていた聞いています。本市として安定ヨウ素剤はどのようなタイミングで配布、服用される体制になっているのかお聞きます。

答 危機管理監

原子力災害の緊急事態に至った場合、原子力規制委員会が屋内退避の指示の後、配布及び服用の必要性を判断し、国の原子力災害対策本部が避難や服用の指示を出すと定められています。本市地域防災計画原子力災害対策編において、国の原子力災害



害対策本部から安定ヨウ素剤の緊急配布の指示があった場合、市災害対策本部が職員を派遣し、迅速に配布できる体制をとることとしており、配布先は各学区の防災拠点であるコミュニティセンターを想定しています。



「その他の質疑・質問」

- ① 教育環境の充実について
- ② 有機農業促進の取組について

個人質問



育政会

高齢者補聴器購入費用

助成について

青木勝治



問 認知症の12個の危険因子の一つに難聴があります。WHOは「補聴器使用が認知機能低下・認知症のリスク軽減のために推奨されるというエビデンスはまだ十分ではない」とし、国は認知症対策として未だ補聴器装着制度の予算化はしていません。

しかし、市は当該事業の目的を認知症予防とし実施を予定しています。今、市が先駆的に取り組むべき施策なのか。購入後のケアが重要な中、認定補聴器専門店の状況等、多数疑問点があり、お尋ねします。

答 福祉保険部理事

WHOガイドラインにおいて、「難聴があると認知症のリスクが約2倍になる」と分析され、「難聴を適時に発見し治療するため、スクリーニングと難聴のある高齢者への補聴器の提供が行われるべき」と示されています。補聴器の装着そのものが認知症予防や改善に効果があるという

考え方ではなく、補聴器の装着が高齢者の社会参加を促進するための選択肢の一つとなり、運動や交流等の機会の増加を促すことで、認知症の予防等をはじめとした複合的な効果を期待し取り組むものです。



耳マーク：聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです

「その他の質疑・質問」

- ① 老人性難聴（感音性難聴）の聞こえの特徴について
- ② 「語音明瞭度」不良に対する補聴器の装着効果について
- ③ 医師による診察・診断、補聴器購入及び装着、リハビリ等について
- ④ 制度化のプロセス、手順について
- ⑤ 制度スキームに係る助成金額等、対象、ポリシーと事業の継続性について
- ⑥ 実施効果の検証方法について
- ⑦ 耳垢除去等の耳の健診について
- ⑧ 補聴補償に加え、集団補聴システム、筆談等の情報保障の強化について

個人質問



創政会

水茎干拓地の将来について

大川恒彦



問 農業従事者の高齢化に伴う生産者数の減少及び施設の老朽化や維持費の増大により持続可能な営農が見込めません。将来を見据え、夢のある新しい農業環境づくり整備の先進地域構想ですが、社会基盤整備の開発を進めていく上で、土地改良や社会資本整備の観点から様々な法規制、また、現地の課題など、色々な問題も多く前例がない大規模で難度が高い事業計画であるだけに、本市が主体となって事業化および実施運営の中心を担っていただきたいのですが、如何ですか。

区の意向を確認する必要があります。今後、事業化を目指す場合は、地元の協議・調整を十分に行い、具体的な計画を示していただいた上で、その計画内容により実施可能な事業等も変わってきますことから、土地改良事業の活用など県と連携して可能性を検討していきます。

答 産業経済部長

水茎干拓土地改良区に関する土地改良事業につきましては、県営農地防災事業にて排水機場の改修工事、東部承水溝の拡幅工事を順調に進めているところです。水茎干拓地の将来構想を考えていくには、水茎干拓土地改良



【水茎干拓土地改良区図面】

「その他の質疑・質問」

- ① 地域力の強化について
- ② 市政への意見・提言について

個人質問



チームはちまん

竹尾 耕児

若者の居場所について



問 子ども若者の拠点整備はマストな政策だと判断します。その整備が一向に見えてこないのが残念です。中高生の居場所がカフェなどの民間施設が多く公的な資源に乏しいのが現実です。拠点整備については旧人権センター、また旧八幡教育集会所など利用できそうな施設がありますが、整備について目立った進捗は見えてきません。また旧南中であるマナビイは耐震的にも問題を残し、老朽化も著しく、拠点の現状や展望についてお尋ねします。

答 教育部長

子ども若者支援の拠点については、旧人権センターや旧八幡教育集会所の現状調査を実施して活用を検討してきましたが、両施設ともに老朽化が激しく、施設改修に係る費用対効果をはじめ総合的に検討した結果、活用は見送ることにしたものです。そのため、今後は、学齢期か

ら30代までの子ども若者の居場所の一体整備を視野に、既存施設の活用に加え、新築を含めた子ども若者の居場所の整備を検討していきます。

なお、マナビイの施設については、機能移転が完了次第、除却する予定をしています。



「その他の質疑・質問」
①更生保護について

個人質問



創政会

藤村 健造

福祉避難所について

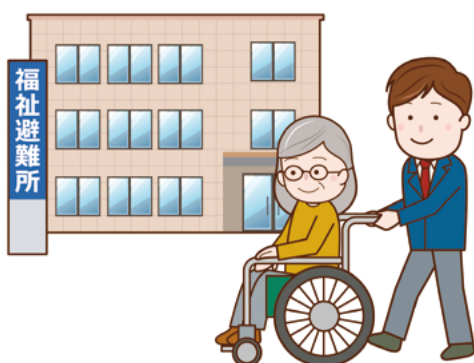


問 能登半島地震で一般の避難所での生活が難しい障がい者や認知症の高齢者の方々が困っておられます。被災地には福祉避難所がありますが、損壊または職員が被災者になり、開設が出来なかった施設もあります。そのような方々は、一般避難所が長引くと障がい等の特性によって団体生活をしていく事が困難となります。福祉避難所を要請する判断及び協定をしている各福祉事業所に対し、障がい者もしくは介護を要する方かどうか判断を行う部署はどこかお聞きます。

答 危機管理監

災害発生時には災害対策本部において、市内の被害状況の把握や避難指示の発令、避難所の開設を行うとともに、学区コミュニティセンターに現地本部を設置し、学区内の避難所等と災害対策本部間の情報連絡に努めることとしています。

一般避難所において、他の避難者との避難生活を継続することが困難な要配慮者がおられる場合、福祉避難所等への移送の調整が必要となるため、災害対策本部において、現地本部や救護班からの情報を確認し、福祉避難所開設の要請の判断を行います。



「その他の質疑・質問」
①安土総合支所におけるアスベスト除去対策について

個人質問



創政会

こどもまんなか社会

実現に向けて

道下直樹



問 令和5年9月議会で質問させていただきましたベビーカーの配備について、現在も市役所に高齢の方や障がいがある方が利用する車椅子と手押し車はありますが、ベビーカーは一台もありません。他市もベビーカーを配備していること、また予算も安価で済むことからベビーカーを配備していただけないでしょうか、伺います。

答 総務部長 市役所にお越しになる子育て世代の負担軽減や子ども子育て支援の更なる充実のため、ベビーカー設置について、できるだけ早く対応できるよう取り組みます。ただし、現在の本庁舎の構造では、特に、多くの子育て世帯がお越しになる2階通路幅が狭く、あくまでも試行的な取り組みとなりますが、利用状況等を踏まえ、新庁舎整備の中において、しっかりと対応を検討してまいります。



【東近江市役所ベビーカー】



【彦根市役所ベビーカー】

個人質問



公明党

特殊詐欺対策について

中塚理恵



問 私は20年前オレオレ詐欺に遭いかけたことにより、電話機は基本留守番電話に設定し、ナンバーディスプレイに申込みました。現在も特殊詐欺の被害は増加傾向にあります。そこで本市では

①被害防止対策として、どのような対策を講じていますか

②高齢者へ迷惑電話防止機能を備えた機器や、モニター付きインターホン購入費用の補助についてのお考えはありますか

③闇バイトについて未成年者で逮捕に至った事象と、学校での対策を教えてください

答 市民部長、教育長

①本市では、警察など関係機関との連携による詐欺被害未然防止のため、街頭啓発活動の実施やタウンメール発信のほか、啓発広報チラシの定期的な発行、市広報等での情報発信など様々な啓発活動に努め

ています。

②県及び各市町の動向や本市での被害発生件数の推移を注視し、調査・研究してまいります。

③近江八幡警察署に確認したところ、令和4年中に1件ありました。教育委員会では学校に対して長期休暇前に闇バイトの具体的な事例を使って指導を行うよう指示し、学校では発達段階に応じて注意喚起を行いました。



「その他の質疑・質問」
①どうする近江鉄道

「その他の質疑・質問」
①学校での取り組みについて

個人質問



政翔会

活力ある地域づくり

辻 正隆



問 新たな市民ニーズの増加、また、デジタル田園都市国家構想や自治体DX・SDGsといった新たな潮流への対応など、地方公共団体の行財政運営を取り巻く状況は大きく変化したと感じます。これまで以上に行財政運営の効率と、質の向上を図っていくことが強く求められるなかで、「入りを量る今後の財源確保策」と「出るを制す策」についてお聞きます。

答 市長

今後の財源確保策については、ふるさと応援寄附金の更なる推進はもとより、発行物、ホームページ、公用車、ネーミングライツなど広告収入をはじめ、受益者負担の公平性、公正性を確保するための使用料及び手数料の適正化等の様々な手法について継続して検討しています。

支出は単に量ではなく、社会情勢の変化や市民ニーズに応じて、事業施策の内容・質を進化

させることが肝要であり、スピード感を持って集中的に取り組み、PDCAサイクルを実施することで、事業再構築の英断と実行が市民の皆さんの幸福に繋がると考えています。

令和6年度予算は

夢と愛を育み、

いざ出陣

実行予算



「その他の質疑・質問」

① 活力ある地域づくりについて「農政現場の声に対する所見」

② 近江八幡市の組織体制について「技術職員の確保対策」

個人質問



創政会

本市における消費者教育の取組について

三上 英夫



問 2月1日滋賀県男女共同参画センターにて、文部科学省主催、本市及び本市教育委員会共催による『消費者教育フェスタ in 近江八幡』が開催されました。消費者教育と言え、食品の安全・安心の問題や環境問題、悪徳商法による被害など消費者生活に関する社会問題が浮かびますが、この8年間、市行政が中心となって「地域連携による消費者教育」をすすめてこられたと聞いています。その具体的な取組と成果について伺います。

答 市民部長

本市消費生活センターでは、市民が「社会の一員として、主体的に市場経済・社会に参画する消費者」となることを目指し、取組を行っています。具体的には、教師が消費者教育に取り組むためのワークショップ、小学生親子が生産者を取材し、生産者の思いや願い、課題、消費者には未来を変える力があること

を知り、発信する「SDGs子ども特派員」、高齢者・障がい者の見守りに関する「SDGs子ども見守り隊」を、市民・事業者・学校等と連携し実施しています。すぐに成果が出るものではありませんが、継続することで徐々に広がっていると感じています。



「その他の質疑・質問」

① 市職員の駐車場使用料について

② 八木町交差点周辺の屋外広告物について

個人質問



日本共産党

玉木弘子

安土コミュニティエリア
整備事業について



問 安土コミュニティエリア整備事業は、面積が約5haと他学区より広く、事業費も71.4億円と膨大で、さらに増える可能性があります。面積も事業費も妥当ではないことが大きな問題です。3点について質問します。

- ① 周りが浸水しますが避難所として問題ありませんか。
- ② 防災拠点として適地であるか専門家との再検討を求めます。
- ③ 浸水で避難所へ行けない場合のことを考え、リスクを分散する上でも現コミセンを残すよう再検討を求めます。

答 都市整備部長

- ① 整備地の雨水排水対策として、水利計算に伴う調整池の設置等により周辺に大きな影響は与えないことから、県道とのアクセス性も将来にわたり持続でき、エリア全体を嵩上げするため、避難所として問題ありません。
- ② 今年度の土質調査の結果を基

に、設計段階で地盤改良等の具体的な対策の検討を進める中で、専門家の見識も反映します。適地であるか再検討する考えはありません。

③ 安土コミュニティセンターは、建築後44年を経過し施設の老朽化が顕著であり、また、合理的な行政財産保有の観点から、現時点では除却する方向です。



【安土コミュニティエリア予定地】

「その他の質疑・質問」

- ① 国民健康保険について
- ② 地域公共交通の充実について
- ③ 公共施設の改修について
- ④ ハラスメント対策について

個人質問



政委会

小川 広司

今後の土地改良区の
あり方について

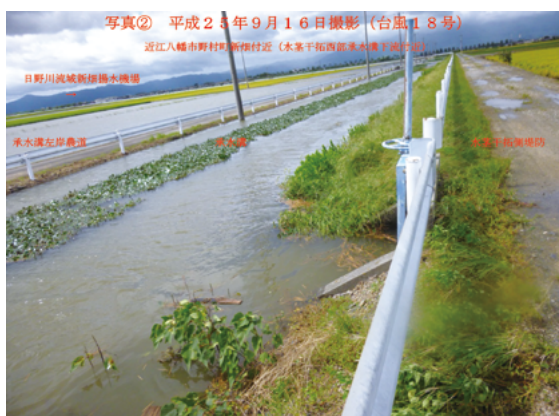


問 今日、農業者は減少してきています。そしてこれまでの水稲から水田の畑地化なども進められています。このような状況で、今後の農業の持続的な発展のために土地改良区が行っている農業の生産基盤の整備・保全管理は重要なことです。そのために土地改良区の今後の在り方については、どのような方向が望ましいとお考えですか、それに対し市行政はどのようにかわっていくべきとお考えですか。

答 産業経済部長

土地改良区の組織運営基盤や事業実施体制の強化につきましては、今後において必要になってくるであろうと認識しています。土地改良区の事務所統合も一つの方策であると考えますが、土地改良区と今後の状況を共有しながら、県を交え協議、検討してまいりたいと考えています。

また、近江八幡市土地改良団体協議会は、各土地改良区的事



【北里学区承水溝】

「その他の質疑・質問」

- ① 青少年の体験活動の効果について

個人質問



ひむれクラブ

県道26号線について

山本英夫



問 土日、祝日には、J R金田

高架付近から大渋滞が続くこともあります。平成26年以降、議会や自治会から要望が続き、平成30年度に「東近江土木事務所は、交差点改良計画にて令和4年度までの着手箇所として、測量調査の実施に向け予算確保に努める」とありましたが、令和5年度の現在、「東近江土木事務所では、設計は年度内に完了する予定」とされていきました。年度終わりを迎えるにあたり、現況及び来年度の取組を回答ください。

答 都市整備部長

県道26号線の県道多賀交差点は、滋賀県において、交差点改良事業に着手し、測量・設計を実施されましたが、多くの課題が出てきたことから、本市及び地元関係者と協議、調整を図られ、現在、右折待ちによる渋滞発生の抑制に向けた複合レーン化の交差点詳細設計を進められ、

今年度中の完了を予定されています。

また来年度は、地元関係者と協議、調整を図りながら、用地測量及び補償調査を実施される予定です。

本市としましても、引き続き、県とともに渋滞解消に向けた交差点改良事業に取り組んでいきたいと考えています。



【県道26号線】

「その他の質疑・質問」

- ①琵琶湖周航の歌について
- ②はちまんもんについて
- ③ヴォーリスについて
- ④近江八幡駅踏切について

予算常任委員会審査報告

委員長 山本 妙子

予算常任委員会は3月11日、12日、13日及び14日に委員会を開催し、「議第1号 専決処分承認を求めることについて 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第8号)」「議第2号 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第9号)」「議第11号 令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第10号)」「議第53号 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第11号)」の5件について審査しました。採決の結果、議第1号、議第2号、議第49号および議第53号は全員賛成で原案を承認および可決、議第11号は賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第2号令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第9号)について、「地域密着移動手段確保事業について、互助輸送の実証実験に係る減額については、原因を含む経緯の説明はあったものの、庁内関係課との連携や学区まちづくり協議会との円滑な事前協議において課題が見られた。また、児童発達支援事業はじめ、会計年度任用職員の報酬等の執行残が大きく計上されていることについて、人事課や関係課との連携のもと抜本的な解決に向けて早急に取り組む必要がある。人員不足により迅速で適切な支援が提供できないということ

は避けなければならない。全体的には、審議会等の会議開催回数が増え、報酬等の減額が多く散見された。結果として、市民の代表の意見の反映や有識者の専門的な視点のチェックや助言が得られているのか疑問を感じる部分もあった。進捗管理やマネジメントをお願いしたい」との意見。

議第49号令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第10号)については、「繰越明許費について、提案者にはその理由等、説明責任があることの意味が希薄にも感じるため、丁寧な説明を求めるものである」との意見。

議第11号令和6年度近江八幡市一般会計補正予算については、「市民広場整備事業については、市民広場の計画の前に、官庁街エリアの整備方針を立てるべきである。市民広場への利用者のアクセス計画、市道区整東5号線の取扱い方針、周辺施設間の連携・駐車場計画、三河川の治水計画、にぎわい創出のための民間施設も含めた土地利用計画について、それぞれに関して市の方針をしっかりと出してから、市民広場の基本計画の検討を行うのであればよい。市民のために本当ににぎわいのある広場をつくるには焦らずにじっくりと検討する必要がある」「旧市民病院跡地だけでなく官庁街エリアの見通しを持った上で、市民や議会の声をしっかりと聴き、



納得した計画のもと委託を進める必要があることから、見直すべきである」との反対の討論。

それらに対して、「市民広場整備事業については、官庁街エリアや様々な課題に関しても市庁舎整備基本計画に盛り込まれていると判断している。今回の予算はこの市庁舎整備基本計画に基づいた取組であり、市民広場の基本計画については、市民広場を含めた官庁街エリアについて、議会で議論するための材料づくりのための計画であるという認識をしている。ただし、議会をはじめ関係者から広く意見を聴いた上で進めることを附帯意見を付けて賛成したい」との賛成の討論。

次に、その他の意見としては、「ふるさと応援基金について、前年度比37%以上増加し、基金を充当した事業数もかなり増加したが、事業内容の詳細が未定のももあった。トライアンドエラーにおいて、エラーの検証をしっかりと行ってほしい。また、継続事業については、優先順位を定め、スクラップアンドビルドで別に財源を確保すべきであり、ふるさと応援基金の使い方のルールを改めて明確化に示してほしい」などの意見。

総務常任委員会審査報告

委員長 沖 茂樹

総務常任委員会は、3月定例会で付託された議案について、3月15日に委員会を開催し、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審

査しました。

○3月15日

予算議案3件、条例議案9件、その他議案2件については、いずれの議案も全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、議員提出議案の意見書1件については、賛成少数で原案を不採択すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第16号の令和6年度近江八幡市文化会館事業特別会計について、「これまで、設備が旧式であるため、扱える業者が限られていたが、設備の更新を機に入札方式を検討されたい」などの意見。



教育厚生常任委員会審査報告

委員長 道下 直樹

教育厚生常任委員会は、3月定例会において付託された諸案件を審査するため、3月18日及び22日に委員会を開き、当委員会に付託された議案について、当局に対し詳細な説明を求め、また、意見書については提出議員に対し概要説明を求め、議案質疑などを行い審査しました。

○3月18日

予算関連議案について、議第4号、議第5号、議第6号、議第8号、議第13号、議第54号の6件は全員賛成で、議第3号、議第12号、議第14号、議第15号、議第17号の5件は賛成多

数で原案を可決すべきものと決しました。条例議案について、議第32号、議第33号、議第34号、議第50号の4件は全員賛成で、議第31号、議第35号、議第36号は賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。その他議案について、議第52号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、意見書の会第1号は可否同数により委員長採択において原案を否決すべきものと決しました。

○3月22日

条例議案について、議第55号、議第56号の2件は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

予算関連議案について、「補正予算全般について、当初予定されていた委員会や研修会の予算が減額されているが、予算を認めた以上は計画どおり予算執行するべきである」との意見。

議第14号について、「高齢者が微増の状況であるが、介護給付費はここ数年増額となっており、十分な内容の検討が行われていないと感じるため、協議を行ってもらいたい、また、早期発見・早期介入を目指すためにも現在の体制の見直しを求めるため反対する」との意見。

議第15号について、「要支援1・2の認定者が減少し、また予算及び利



用者も減少しているが、要支援者であるうちにケアを行うことで、住み慣れた地域で住み続けることに繋がるため、サービス拡大を願う反対する」との意見。議第17号について、「高齢者になれば身体機能が低下するため、高齢者のみで保険制度を設立することは、経済的にも弱者になる高齢者に対する負担が大きいと考えるため反対する」との意見。

議第31号について、「高齢者や障がい者の方が主に活動されており、施設の使用料が少額でも増額されることで利用抑制につながってしまうと予想されるため反対する」との意見。

議第35号について「国の基準に合わせて所得段階が増やされ、介護保険料が増額となり、増額の範囲には住民税非課税世帯が含まれていること、高齢者の高所得者の保険料を引き上げることとなるため反対する」との意見。

議第36号について「多機能型サービス事業所での管理者の兼務要件が緩和されたが、安全性の確保の点で不安があること、介護支援専門員の取扱件数が増えることにより、事業からの撤退が進んでしまうのではないかと考えられるため反対する」との意見。

産業建設常任委員会審査報告

委員長 南 祐輔

産業建設常任委員会は、2月15日と3月19日に委員会を開催し、3月定例会で付託された予算関連議案4

件、条例関連議案8件と、その他議案4件の計16件について、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

○2月15日

議第28号近江八幡

市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、当局に詳細な説明を求め、審査を行い、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

○3月19日

予算議案4件、条例議案7件、その他議案4件について、当局に詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査し、すべての議案において、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第18号の令和6年度水道事業会計予算では、「重要管路耐震化事業及び老朽管更新事業について、現在の整備率、全体整備計画に対して質疑があり、大規模地震に備えた更新工事を計画どおり施工するように」との意見。議第21号の近江八幡市ポイ捨ての禁止等に関する条例の制定について、「環境美化のためには、市民、来訪者一人ひとりの心がけが大切である。本条例の趣旨を理解していただけるよう丁寧な周知を行うとともに、抑止につながる施策を講じていく必要がある」との意見。



総務常任委員会 活動報告

総務常任委員会では、所管事務調査項目の「地域コミュニティの現状と課題について」、近年、地域コミュニティ、特に自治会で深刻な問題となっている自治会への加入率の低下や、役員の担い手不足等について、令和5年度と令和6年度の2年間をかけ、調査研究を行うとし、令和5年度は現状の把握と課題の整理、要因分析に努めました。

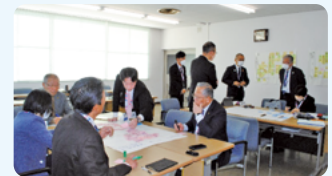
令和5年8月2日、9月27日の講義及びワークショップ形式による自治会及びまちづくり協議会に係る現状の把握と課題等の整理（議会だより57号掲載）、総務省及び栃木県宇都宮市への行政視察及び研修の実施（議会だより58号掲載）の後、令和5年11月20日には、新しく設立されたトゥルータウン常楽寺自治会との意見交換会を行い、設立経緯や活動状況、更に、自治会の設立や運営に関して行政等に求める支援等について伺いました。

令和6年1月17日は、総合政策部まちづくり協働課の協力により、講義及びワークショップ形式にて、前回までの（8月2日及び9月27日）の模造紙にまとめた意見をもとに、自治会長業務と担い手を細分化することで、効率的、効果的な「本来の担い手」を探る作業を行いました。

2月には、各学区自治会長会議に当委員会委員が分担して伺い、自治会長を対象に「自治会運営に関するアンケート調査」を実施しました。

今後、調査回答から、自治会運営の改革等に取り組まれた自治会に対しヒアリングを行うとともに集計結果等についても報告を行う予定です。

次年度も引き続き、地域コミュニティの現状と課題の整理から、自治会等の地域活動が、変化するニーズに対応しつつ持続可能性を高めていくための取組等について調査・研究を進め、その成果を自治会運営に関する提案等に反映し活かしていけるよう研鑽に努めてまいります。



教育厚生常任委員会 活動報告

教育厚生常任委員会では、福祉、教育分野の所管事務に関する議案審査や政策立案の参考とするため所管事務調査を実施しています。

11月2日には、子育てに関する意見交換として、市内の子育て支援団体の代表者と社会福祉協議会が集まり、情報発信やリーダーミーティングを行っておられる、おうみはちまん親子応援団体「ぱぴぱべぽ」に様々なお話を伺いました。団体を立ち上げられてから現在までの経緯を説明していただき、今後は更に多くの支援団体や企業も巻き込んで、支援の輪を広げていくことで、様々な課題を連携してカバーし合えるシステム作りが必要であるとお話しいただき、その後、市内の子育て環境について意見交換を行いました。

12月22日には、発達障がいと知的障がいのある人の疑似体験型啓発キャラバン隊「花bee」より講師を招き、発達障がいと知的障がいのある方の生活や関りについての話をお聞きしました。また、障がいの疑似体験を行い、言葉のかけ方・手の感覚の違いについて体験し、どのような配慮や支援が必要になってくるのか考えさせられました。

12月27日には、2回目の学校給食センター施設整備事業にかかる現地調査を行いました。担当課より、現時点での施設の現状と経緯について説明を受け、不具合が生じている地下ピット内の確認後、質疑応答を行いました。

今後も本市の福祉・教育行政が抱える諸課題の解決に向けて調査・研究に取り組んでまいります。



産業建設常任委員会 活動報告

2月9日（金）に交通弱者の移動支援について、島学区まちづくり協議会の取組みを調査しました。

島学区まちづくり協議会は、以前より地域において、あかこんバスを補完する移送支援サービスが必要であると考えておられ、その支援対策を模索されていまして。そうした中、市より地域密着移動手段確保モデル事業の実証実験の提案があり、地域の交通弱者の方に対する移動支援「ちょこっとサービス」を立案し、昨年10月より沖島地区と連携して実証実験に取り組んでおられます。

現在、民生委員を中心に28名のドライバーの登録があり、随時運行をされています。利用者の移動目的は、通院が8割で、買い物は2割といったところです。

当まちづくり協議会では、利用者、ドライバー、地域の声を聞きながら実証実験を行い、その結果を踏まえて、本年4月より本格実施を予定されています。

当委員会では、実証実験での成果や課題、利用者の声などを聞かせていただき、今後の施策立案に活かしていきたいと考えています。また、学区によっては問題点も異なることから、継続して調査をしていきたいと考えています。

議会改革推進委員会 取組報告

市議会では、市民に開かれた議会にするため、議会改革推進委員会を設置しており、議会活動等の議会改革の推進に関することについて協議を行っています。

当委員会は、令和5年度は委員会を計5回開催し、主な検討項目を前年度からの継続検討事項である「市議会タブレット端末導入に係る運用規程について」及び「市議会基本条例の内部評価と見直しについて」、また「個人質問のあり方について」の検討を行い、以下の結果となりました。

「市議会タブレット端末導入に係る運用規程について」…運用規定の策定（令和5年10月タブレット端末導入）

「市議会基本条例の内部評価と見直しについて」…条例の再確認と個人評価の実施

「個人質問のあり方について」…各自で時間計測を行うなど、時間短縮に向けた意識づけの取組

めざせ1時間以内！

個人質問の総時間を60分以内で
終了できるように意識しましょう。



議会改革推進委員会

議会運営委員会 視察研修（令和6年2月5日）

<視察項目>

「議会運営・議員活動におけるタブレットの活用事例について」

本市議会では、昨年10月にタブレットを導入しましたが、連絡通信やペーパーレス化以外の活用が進んでいない状況です。彦根市議会は平成30年にタブレットを導入され、議会運営をはじめ議会活動の様々な場面で活用されていることから参考とするため視察を行いました。

彦根市議会では、「議会のICT化」というより、議会活動の中の便利ツールの一つとしてタブレットを活用されており、導入から6年が経つ現在でも、議案資料などは紙とデータを併用されています。あくまでも使い手である議員が議案審査しやすい方法を選択されていました。

一方で、議員と事務局との連絡通信や、オンラインでの防災訓練や議会報告会、委員会活動報告など、タブレットが有効な場面では、規程やマニュアルなどにタブレットの使用を規定、明確化し、積極的に活用されています。

また、導入から年数を重ね、現在ではアプリケーションの使用やスケジュール管理、連絡通信などにおいて、タブレットと個人所有の端末などを組み合わせて、場面に応じて柔軟に活用されていました。

今回の研修を参考に、ICTを活用した効率的な議会運営について、今後も調査研究に取り組んでまいります。



令和5年度 議会防災（情報伝達）訓練

令和6年2月21日（水）、近江八幡市議会では議会独自の防災訓練を実施しました。

今回は、議会、議員が災害時などの有事の際に行うべき、役割や行動基準を定めた近江八幡市議会業務継続計画（BCP）を実効性のあるものにするため、発動手順に従い、最も重要な初動対応に焦点を当てた訓練を行いました。



市議会議員紹介 Vol. 4

クローズアップ

市民のみなさんに市議会議員をより身近に感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をシリーズで紹介しています。

やまもと たえこ 山本 妙子

- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？
- Q③議員になって何をしたいですか？
- Q④議員に必要なもの3つ？
- Q⑤あなたの熱い思いを一言

市役所前の中央分離帯（横断歩道の真ん中にある安全地帯）から見る東西を見渡す景色…街路樹や安全島・街並み、また月が見える時はとびきりステキです
小さな声を聴く
身近な生活の中に政治を感じてもらえるよう日々取り組んでいきたい
誠実・中道（真ん中ということなく、かたよりなくベストを選択するという意）・現場第一
こどもから大人まで広く政治に関心を持ってもらえるような市政をめざします！



みなみ ゆう すけ 南 祐輔

- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？
- Q③議員になって何をしたいですか？
- Q④議員に必要なもの3つ？
- Q⑤あなたの熱い思いを一言

八幡山、長命寺山、安土山など琵琶湖を一望できる場所
未来に向かってさらに一步を進める
政治を始めとする日本の閉塞状況を打破したい
行動力、探究心、粘り強さ
ロックな気持ち（常識にとらわれない自由な精神、前向き、へこたれない、というようなイメージです）を忘れず、市政発展のために頑張ります。

やまもと とみ こ 山元 聡子

- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？
- Q③議員になって何をしたいですか？
- Q④議員に必要なもの3つ？
- Q⑤あなたの熱い思いを一言

八幡山の石垣とそこから眺めるパノラマ
凛とした姿勢を貫きます！
地域が家族として支え合うまちづくり（地域共創）
議員になった原点を忘れないこと、洞察力、実行力
人づくり政策を軸として豊かな地域共創を力強く進めていきたい。地域は家族です！



編集後記 「開かれた議会を目指して」

市民に身近な議会として、市議会では、本会議におけるライブ中継及び代表質問・一般質問の録画配信を行い、リアルタイムに情報の発信に努めております。

今年度においても、議会だよりを発行し、議会の仕組みや議事内容についてわかりやすくお伝えすることにより、市民に開かれた、信頼される議会になるために、情報の公開と説明責任を柱とし、議員一同取り組んでまいります。

（広報広聴委員長 辻 正隆）

令和6年第1回(3月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案																							
議案番号	件名	付託委員会	会派 議決結果	創政会								政翔会			①	②	③	④	⑤	⑥			
				間宮泰樹	藤村健造	三上英夫	道下直樹	南祐輔	大川恒彦	岡田彦士	小西はげむ	久郷定彦	沖茂樹	辻正隆	小川広司	松村務	青木勝治	中塚理恵	山本妙子	森原陽子	玉木弘子	竹尾耕児	山本英夫
◇ 予 算																							
議第3号	令和5年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第11号	令和6年度近江八幡市一般会計予算	予算	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第11号	令和6年度近江八幡市一般会計予算（修正案）	－	否決	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
議第12号	令和6年度近江八幡市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第14号	令和6年度近江八幡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第15号	令和6年度近江八幡市介護保険事業特別会計（サービス事業勘定）予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第17号	令和6年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
◇ 条 例																							
議第31号	近江八幡市市民共生センター条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第35号	近江八幡市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第36号	近江八幡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
◇ 人 事																							
議第57号	近江八幡市教育長の任命につき同意を求めることについて	省略	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
◇ 議員提出議案																							
会第1号	学校教育の環境整備等を求める意見書の提出について	教育厚生	否決	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
会第2号	政治資金パーティー、企業・団体献金の禁止を求める意見書の提出について	総務	否決	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	退	×	×	×	×	○	○	○	退

①：育政会 ②：公明党 ③：日本共産党 ④：チームはちまん ⑤：ひむれクラブ ⑥：凜成会
 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 一…議長は採決に加わっていません。

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案		
議案番号	件名	付託委員会
◇ 予 算		
議第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第8号)	予算
議第2号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第9号)	予算
議第4号	令和5年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計補正予算(第1号)	教育厚生
議第5号	令和5年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	教育厚生
議第6号	令和5年度近江八幡市介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)補正予算(第1号)	教育厚生
議第7号	令和5年度近江八幡市文化会館事業特別会計補正予算(第1号)	総務
議第8号	令和5年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	教育厚生
議第9号	令和5年度近江八幡市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設
議第10号	令和5年度近江八幡市下水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設
議第13号	令和6年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計予算	教育厚生
議第16号	令和6年度近江八幡市文化会館事業特別会計予算	総務
議第18号	令和6年度近江八幡市水道事業会計予算	産業建設
議第19号	令和6年度近江八幡市下水道事業会計予算	産業建設
議第20号	令和6年度近江八幡市病院事業会計予算	総務
議第49号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第10号)	総務
議第53号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第11号)	予算
議第54号	令和5年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	教育厚生
◇ 条 例		
議第21号	近江八幡市ボイ捨ての禁止等に関する条例の制定について	産業建設
議第22号	近江八幡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務

議第23号	近江八幡市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第24号	近江八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第25号	近江八幡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第26号	近江八幡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第27号	近江八幡市離島振興対策実施地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第28号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第29号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第30号	近江八幡市督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第32号	近江八幡市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第33号	近江八幡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第34号	近江八幡市介護基本条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第37号	近江八幡市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第38号	近江八幡市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第39号	近江八幡市給水条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第40号	近江八幡市消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第41号	近江八幡市安土芸文の郷あど木っずランド条例を廃止する条例の制定について	総務
議第42号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総務
議第50号	近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第51号	近江八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第52号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	教育厚生
議第55号	近江八幡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第56号	近江八幡市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
◇ その他		
議第43号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	産業建設
議第44号	近江八幡市第1次総合計画後期基本計画を策定することにつき議決を求めることについて	総務
議第45号	近江八幡市沖島辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画を変更することにつき議決を求めることについて	総務
議第46号	市道路線の認定につき議決を求めることについて	産業建設
議第47号	市道路線の変更につき議決を求めることについて	産業建設
議第48号	近江八幡市同報系防災行政無線施設整備工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	産業建設
議第52号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	教育厚生
◇ 人 事		
議第58号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	省略
◇ 議員提出議案		
会第3号	近江八幡市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	省略
会第4号	地方自治法第180条議会の委任による専決処分事項の指定についての一部を改正することについて	省略
会第5号	令和6年度近江八幡市一般会計予算に対する附帯決議	省略

付託委員会欄の「決算」は決算特別委員会、「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。

令和6年度近江八幡市一般会計予算について、次の附帯決議を可決

当該予算において新規事業として「市民広場整備事業」の経費1,247万7千円が計上されている。この事業は、近江八幡市庁舎整備基本計画の市民広場の基本コンセプトに基づき、官庁街に市民が主体として活動できる市民広場の整備推進を目的としたものである。

このことから、未来にわたって市民に誇れる、にぎわいと交流のある官庁街を整備していくため、市長におかれては、当該事業の発注段階から、議会をはじめ関係者から広く意見を聴いた上で、官庁街未利用地の活用並びに道路及び駐車場計画も見据えた全体の整備方針を明確にしていくこと。

※附帯決議とは…議会又は委員会における審議の対象である事件の議決に当たって、その事件について付随的に付けられる意見又は要望の決議のことをいう。（地方議会運営事典より）

6月定例会のご案内 令和6年第2回（6月）市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
6月6日(木)	6月17日(月)、18日(火)、19日(水)	6月20日(木)、21日(金)、24日(月)、25日(火)	6月27日(木)

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール：020200@city.omihachiman.lg.jp FAX：0748-36-7101



●インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷